

生前整理

高齢で一人暮らしの場合、亡くなった後にご自身の遺品を整理してくれる人はいるでしょうか。もしもない場合、生前整理で、身の回りのものや財産にかかわるものを、今のうちに片付けておくことが必要です。また、一人暮らしでなくても、残されたご家族が遺品整理に苦労することがないよう、生前整理をやっておきましょう。



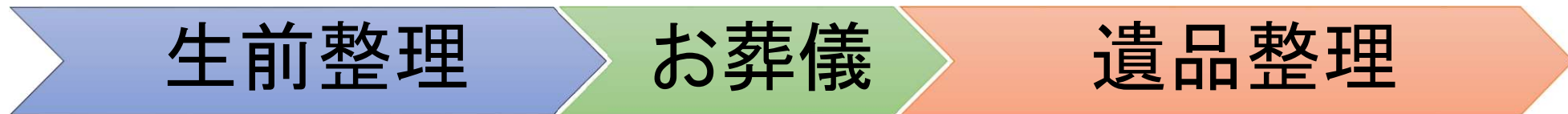
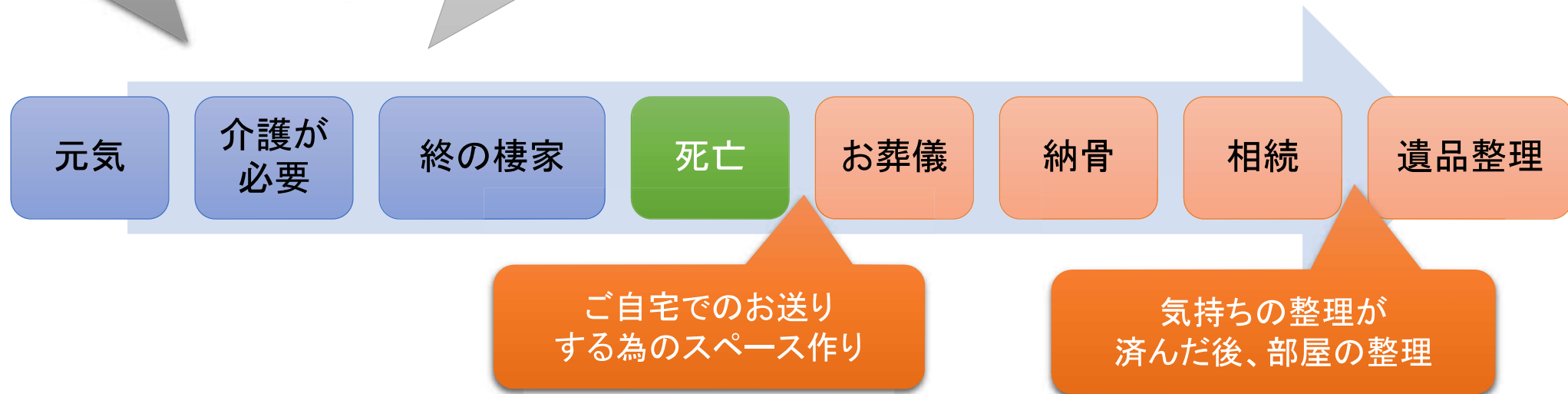
生前整理によって、本当に今の自分に必要なものだけがある家の中で暮らせます。そうすれば、さらに前向きに人生を送ることができるはずです。重苦しい不用品などがなくなった部屋で、自分が好きなものだけに囲まれて暮らす…きっと、そんな生活は、あなたの人生に、ハリをもたらしてくれるでしょう。また、バリアフリーにお部屋を改造したい、といった場合になっても、生前整理をしたあなたのお部屋は、工事もしやすくなっているはずです。

終活からみる片付け

『終活』をテーマとして、元気な間に片付けておく方が急増！

元気な間に整理する

施設への引越しに伴う整理・処理



遺品整理

亡くなった方の家や部屋には、形見として残しておきたいもの、まだ使えそうなもの大きな家具や家電、もう処分してもよいものなどが入り混じって残っています。

家をすぐにでも明け渡さなければいけない場合もありますし、遺品をいつまでもそのままにしておくわけにはいきません。遺品整理とは、このような故人の遺品を、**残しておくものと処分するもの**とに仕分け・整理することです。

残しておくもののうち、現金、印鑑、銀行の通帳、株式証券、骨とう品や美術品などの貴重品は、遺族の誰かが管理したり相続したりすることが多いでしょう。写真やアルバム、手作りの品など、捨てたくない思い出の品々は、手元に置いておくか、遺品供養を取り扱っている業者に依頼することもできます。故人が一人暮らしだった場合は、食器棚やタンス、テレビなどが不要になることも多いですが、これらを自分で処分するのは大変です。



遺品整理メリット・デメリット

【遺品整理を自分たちで行う】 メリット

- ・亡くなった方の遺品を自分たちの手で仕分けることで、心を整理するきっかけとなる。
- ・費用を抑えられる。
- ・第三者が介入しないのでトラブルが少ない。



デメリット・気持ちの整理がつかない場合、思い出の品に触れると辛い気持ちがよみがえってしまう。

- ・処分するものが大量にある場合、トラックなどを借りて、ゴミ処理場まで運ぶ必要がある。
- ・時間と手間がかかる。

【遺品整理を業者に依頼する】 メリット

遺品整理専門の資格を持つ業者などに任せただけで、スムーズに作業を進めることができる。

- ・仕分けから回収まで依頼をするか、頼みたい作業内容によって適切な業者を選ぶことができる。

デメリット・費用がかかる。

- ・想定外の追加料金を請求される、作業内容が事前の話と食い違っているといったトラブルが起こる可能性がある。
- ・業者によっては、遺品を丁寧に扱ってもらえなかったり、回収した遺品を正しくない方法で処分されたりする場合もある。